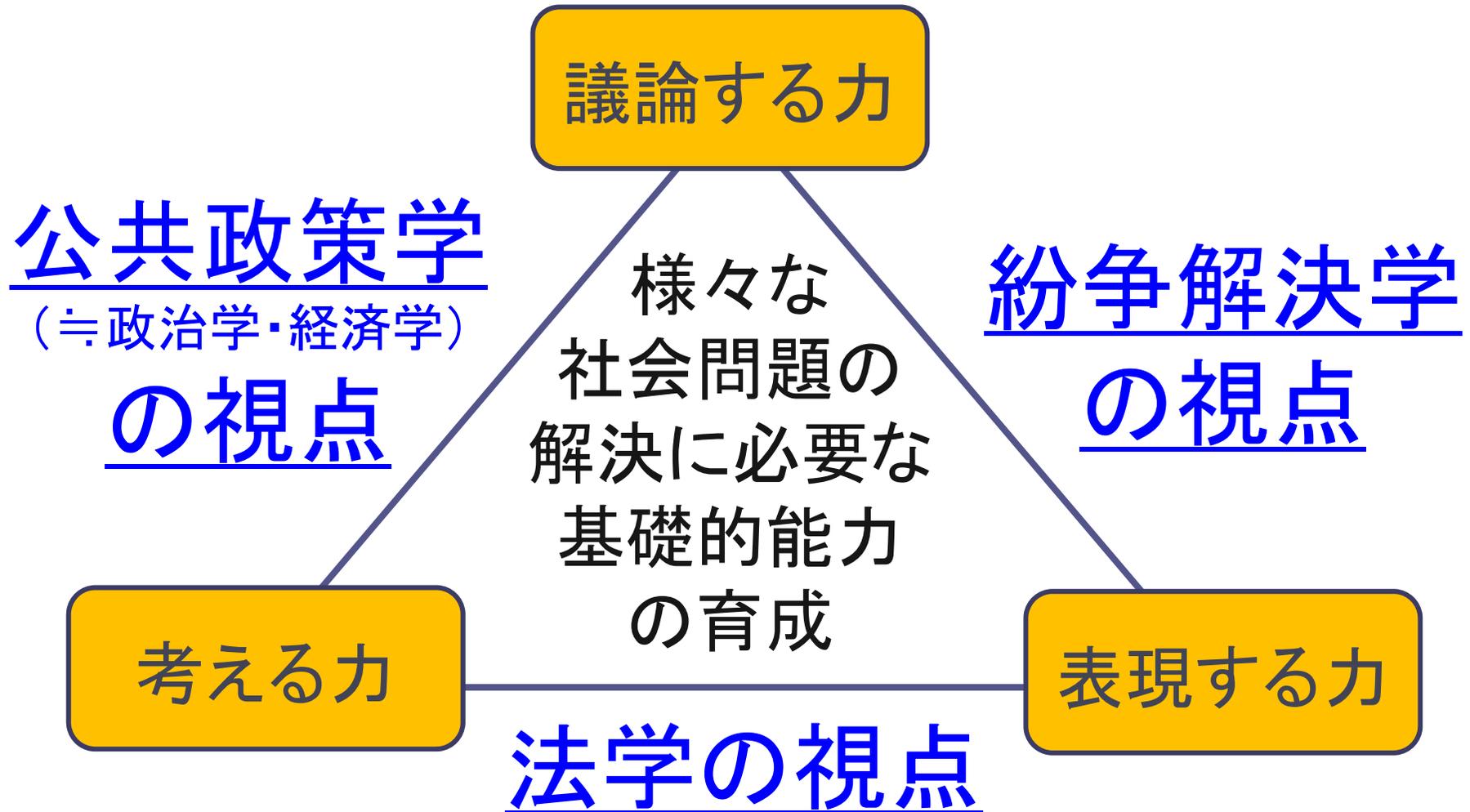


2018年度
熊本大学法学部
案内

2018年8月4日(土)
オープンキャンパス

熊本大学法学部の人“財”養成目標



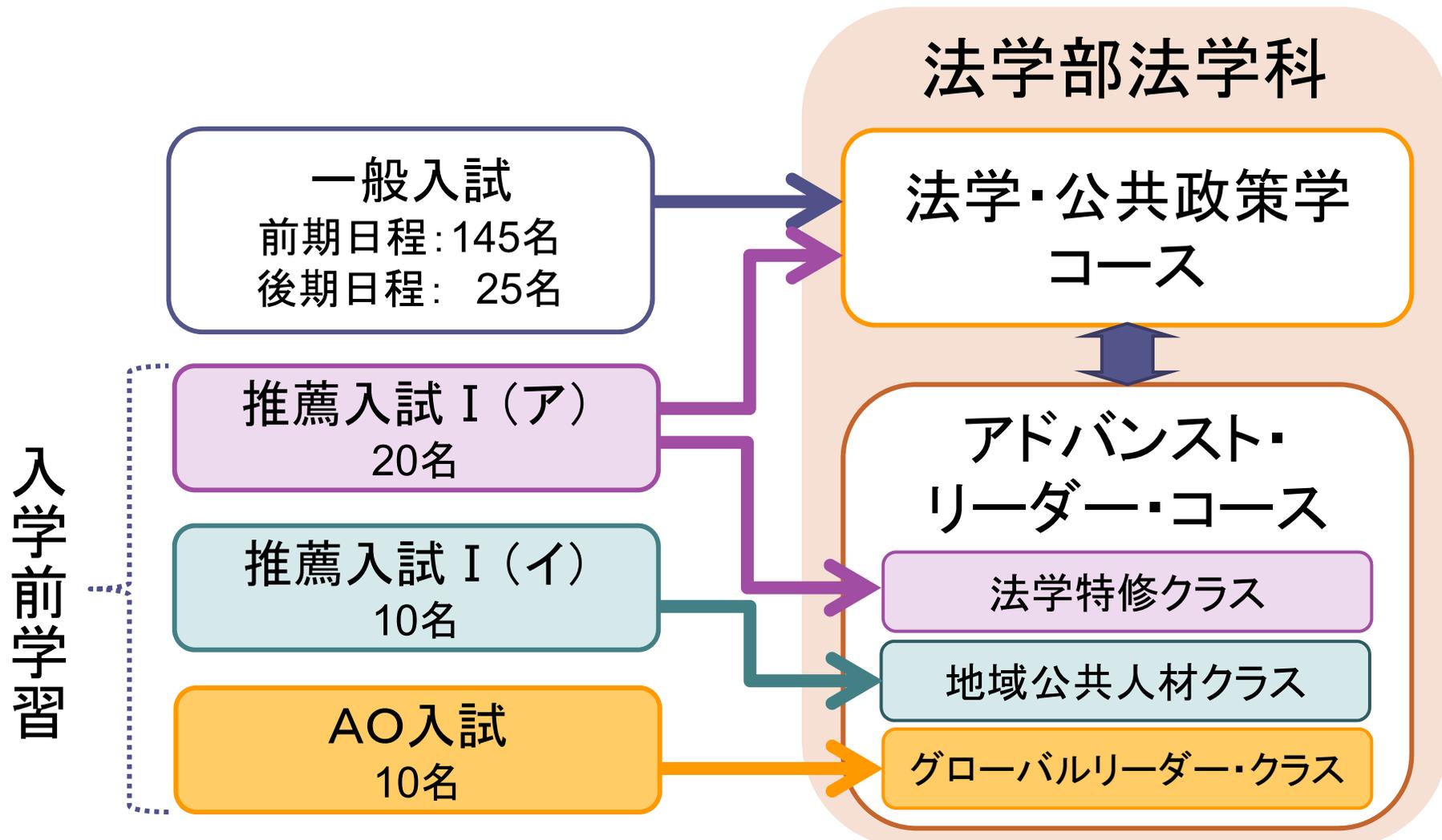
熊本大学法学部のカリキュラムの特色

- **法学・政治学・経済学・紛争解決学の修得**
 - 熊本県立大学・熊本学園大学・放送大学との単位互換制度
- **少人数(演習型の双方向形式)教育の重視**
 - 1年次から4年次まで必修開講, きめ細かい指導(担任制)
- **実践的知識の習得**
 - 3・4年次演習でのフィールドワーク, 実務家による講義 など



3・4年次「演習 I・II (政治学)」の様子

コース制と入試制度



各コースの特色

● 法学・公共政策学コース

- 低年次では幅広く知識を修得したうえで、3年次から進路志向型の教育を受けることができます。

● アドバンスト・リーダー・コース

- 1年次から進路を志向した少人数の特別授業を専門課程で受けることができます。
- 大学院進学希望者を対象とする早期卒業制度があります。
 - 法科大学院
 - 熊本大学大学院社会文化科学研究科 など
- グローバルリーダー・クラスは、1～2年次の教養課程で特別授業を受けます。
 - GLCのWebサイト...<http://hqac.kumamoto-u.ac.jp/GLC/>

※コース・クラスの配属変更...『法学部案内2019』(10頁)

熊本大学法学部での学び方①

● 1つの問題を多面的に考えます。

Q.公害を金銭賠償によって解決する場合、金額はどう決める？
(環境経済論)

Q.公害が起きたとき、住民は誰の責任を追究できる？(行政法)

Q.なぜ自衛隊の合憲性を巡って対立が起きる？(憲法)

Q.なぜ自衛隊の活動は認められている？
(政治史)

Q.戦争はどのような手続きを経て始まったり終わったりする？
(国際法)

Q.なぜ企業が市場を独占して一人勝ちすることはよくない？(経済法)

Q.なぜ貿易摩擦が起きる？
(国際経済論)

Q.なぜ戦争や内紛が勃発する？
(国際関係論)

Q.地方分権を進めるべき？中央集権のほうがよい？
(地方財政)

Q.バイトを辞めたいのに辞められないとき、どうすればよい？
(労働法)

Q.宅配荷物が盗まれたら、宅配業者は責任をとってくれる？
(商法)

Q.人に危害を加えても罪にならないのはどんなとき？(刑法)

Q.交通事故で亡くなった人の遺族は加害者に何を請求できる？(民法)

Q.震災の対応をめぐって県と市で対立することがあるのはなぜ？(行政学)

Q.なぜアメリカでは訴訟が頻発する？日本人は裁判嫌い？
(法社会学)

Q.裁判でなければ、紛争は解決できない？
(訴訟法)

Q.各々の紛争・葛藤にはどのような解決方法が適している？
(交渉紛争解決学)

Q.文字で書かれた法(制定法)を守っていれば争い事は起きない？
(法哲学)

1年次:基礎演習Ⅰ(法学特修クラス)

「責任能力」の発表を通じて、法学の学び方を身につけます。

人数が少ないこともあって、先生が私たちのペースやレベルに合わせて段階を踏んで丁寧に指導してくれます。じっくり学ぶことができるので、このクラスを選んで良かったです。



最初は六法の開き方から教わって、判例の読み方を学んだ後、自分が興味のあるテーマを調べて発表しました。大学では、一方的に知識や情報を受け取るだけじゃなくて、話し合う場があるので、みんなの意見を聞いて、自分とは違った観点到気づけたり、新しい問題点が見つかったりして、自分の力で勉強している実感があります。とくに、このクラスは少人数なので、気後れせずに発言や質問ができるし、将来の目標に向かってやる気満々の学生ばかりなので、話し合いが活発で楽しいです。



澁谷洋平先生と法学特修クラスの皆さん

1年次:基礎演習Ⅰ(地域公共人材クラス)

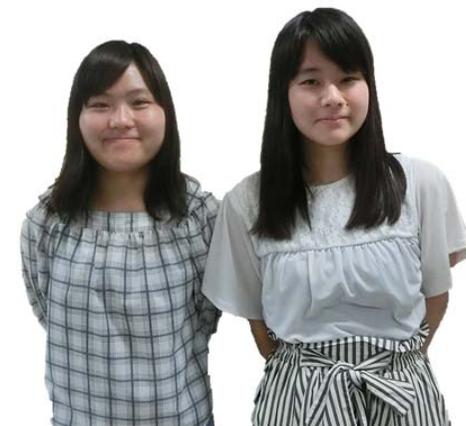
「表現の自由」の発表を通じて、法学の学び方を身につけます。



熊本地震のボランティアをきっかけに公務員を目指しています。この授業では、熊本刑務所の見学や「子宮頸がんワクチン訴訟」の傍聴にも行きました。被害者の生の声を聴いて、社会問題や裁判を身近に感じました。事件のことも、今までより深く考えられるようになりました。

「立川ビラ配布事件」の発表をしました。判例は専門用語を使った独特な書き方で、先生から読み解き方を教わりました。最初は難しかった判旨※の内容が、この頃スツと頭に入ってくるようになってうれしいです。発表は、判決に対する自分の意見を、事実、条文、学説で根拠を示しながら述べるところが難しいです。大学の授業では、先生が教科書の内容をそのまま教えるわけじゃなく、「そうじゃない」と別の見解を示すこともあります。そこが新鮮で面白いです。

※判旨...判決の要旨。



小松野千尋さん 内田好香さん

1年次:基礎演習Ⅰ(グローバルリーダー・クラス)

「おとり捜査」の判決を読んで、法学の学び方を身につけます。

価値観の違う海外の人たちと触れ合うなかで、視野を広げて自分の軸を見つけないと、もっと英語力を伸ばしたいです。空き時間にカレッジ棟に行けば留学生がいるし、自分から関わろうとしたら海外の人たちと関われる環境にあります。1歩踏み出せば何でもできます。留学もしてみたいです。



日本の判例や「安楽死」に関する英文記事を読んで、要点をまとめて自分の意見を述べた後、全員で話し合います。このクラスは入学前の事前学習から交流があるので、みんな仲が良く、10人の少人数ということもあって、意見交換がしやすいです。疑問や違う意見を述べて突っ込んでくる人が多いので、いろいろと考えさせられます。グローバル・カレッジの特別授業も10~20人程度の授業が中心で、先生の解説後に3~5人のグループで話し合う形式が多いです。英語で話し合うこともあります。



早先友里子さん 市原翔一郎くん

2年次：基礎演習Ⅱ（経済学）

「働き方改革」をテーマに，考える力を伸ばします。



タイムリーな話題についての知識が得られるので，興味がわきます。法学部の勉強って暗記ばかりかなと思っていたけど，実際は自分の考えを組み立てていく感じで行きます。高校の授業より楽しいよ！

大学の勉強を通じて，今まで単なる情報だったものが自分のものになって，そこから自ずと自分の考えが生まれてくるようになりました。みんなでディスカッションしながら勉強すると，気づきがたくさんあるし，建設的な考え方ができるようになった手ごたえもあります。



松下晃くん

柏木智雄くん

3年次:演習Ⅰ(民法)

「契約の成立」の発表を通じて、法的思考力を養います。

大学の勉強は決まった答えがなくて、説明の整合性がとれていれば、どんな解答でもできるところが面白いです。同じ民法の教科書でも、それぞれ主義主張が違っていて特色があるので、何か調べるときには、いろいろな文献にあたってみることが大事だと学びました。言い回しや書き方の異なる文献を読み比べてみることで、理解も深まります。



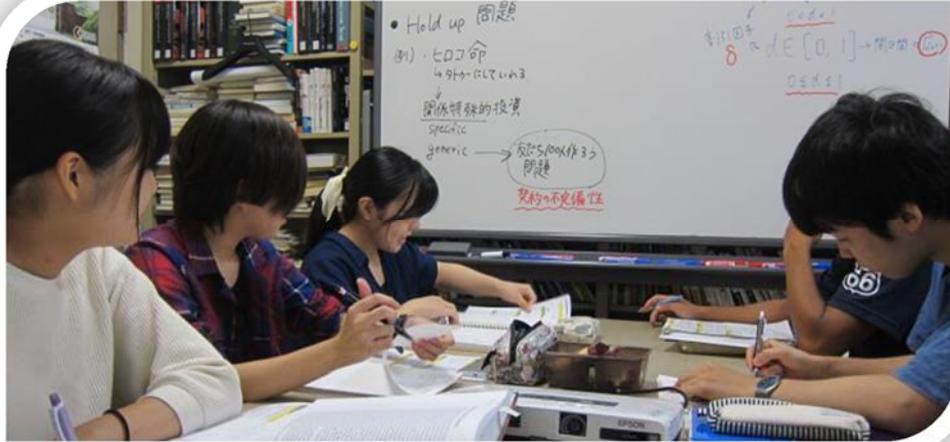
中村涼くん

実際の判例を取り上げて、まずは何が問題となっているかを理解します。テキストや参考文献を10点以上読み込んで学説を整理し、レジメ※にまとめて先生の前で発表します。先生から「なぜそうなる？」という質問や指摘をされて、自分でも理解が及んでいなかった部分に気づきます。そうしてテキストを読み直したり調べ直したりしたことは、よく理解できるようになります。次に同じ問題が出てきたときには、絶対に答えられる自信がつかます。

※レジメ...発表内容を簡潔に記したものの。

3年次：演習Ⅰ（公共経済学）

「ゲーム理論」を学び、経済学的な考え方を身につけます。



2年次の経済学の授業で、シートベルト義務化の効用に関する解説を聴いて、数字ばかりかと思っていた経済学が、もっと身近で親しみやすい学問だと知って興味を持ちました。もともと法学部志望でしたが、実際に学んでみて自分の得手不得手ははっきりわかりました。法律・政治・経済と幅広く勉強したおかげで、本当に学びたいことが見つかりました。

「ゲーム理論」は、独寡占企業の行動といった経済問題だけではなく、司法取引や米朝関係、サッカーの戦術まで、いろんな事例の分析に応用することができます。理論の勉強は難しく、いつも先生の指摘に必死に食らいついている感じですが、みんなで話し合いながら解法を考えるのは楽しいです。法律は事後的な紛争解決の手段ですが、経済の視点から物事をみていると、紛争が起きる前の段階でいろんな対策が立てられることに気づきます。法学と経済学を一緒に学べば、世の中の問題に多方面からアプローチできて、モノの見方が広がりますよ。



坂本紘美さん 塚本莉央さん

3・4年次：演習Ⅰ・Ⅱ（法哲学）

古典の講読を通じて、考える力を鍛えます。

いつも先生から「ゼミでは正解を言おうとしなくても良い、失敗が許される大学生のうちに何でも発言して、いっぱい間違えても良い」と言われます。それでも難しくて言葉が浮かばないときがあります。そんなときは、先生がダジャレを言って、場を和ませてくれます。



須崎彩さん

古典には、現代にも共通する問題が書かれていて驚きます。過去は現代とは違うものだと思っていましたが、問題解決のヒントをくれるものとして、歴史の重要性を感じています。法哲学は、イデア論から角界問題まで、幅広い問題を扱える学問で、普段の行動とか生活の中で感じたこととか、身近な話題でも議論できるところが魅力です。議論しながら、自分でもわかっているのか、わかっていないのか、それすら、わからなくなることがあります。すぐに答えは出ないのですが、しばらく経って「こういうことなのかな」とちょっと気づけたり腑に落ちたりしたときは、うれしいです。確かにわからなくて難しいけど、だからこそ、知りたいと思えるし、そこが法哲学の面白いところです。

3・4年次:演習Ⅰ・Ⅱ(国際政治学)

「移民問題」をテーマに, 議論する力を磨きます。



切磋琢磨して議論すると, いろんな切り口から予想外の意見が出てきて面白い。自分の見識が広がっただけじゃなく, 自分と違う意見に対しても寛容になりました。

自分なりの意見を持つことが大事だよ。

卒業論文のテーマは「中東諸国は石油依存をどう脱却するか」。先生が親身になって, 分析を進めるためのアドバイスをしてくれます。法学部の優秀卒論賞を目指して頑張ります!



大学は, メディアの浅い情報では得られない, 物事の本質を見抜くためのトレーニングをするところ。大学の勉強を通じて10~20年後の社会についての見立てがつかうようになります。

世界・日本・地域における政治・経済の問題。いろんなことを考えるなかで, 社会全体を捉える視点が得られます。

3・4年次：公法特論Ⅰ（憲法）

「集会の自由」の判例をもとに、法的な問題解決に必要な実践力を養います。

法律って、自分とは縁遠い高尚なものというイメージを持っていたけど、買い物もアルバイトも「契約」という法律問題。法律は日常生活に密着していて、私たちを守ってくれているものなんですよ。



アメフトのタックル事件のような日頃のニュースに関しても、ジャーナリストの見方とは違って、どんな罪になる？ 誰に責任を問える？といった法的な視点から自分なりに理解するようになりました。



身近な人の手助けをしたくて弁護士を目指しています。この授業では、判例をもとに論述トレーニングをしながら、個別の問題解決にあたって実際の法律をどう適用するかを学んでいます。先生の丁寧な指導を受けて、考え方や説明のしかたのコツがつかめるようになりました。

（後列左から）和泉里佳さん、上田莉穂さん、瀬川遼くん

熊本大学法学部での学び方②

● 実社会と接点を持ちながら実践的に学びます。

● 「職業選択と自己実現」「職業選択の実践」(2・3年次)

- 司法書士・弁護士, 企業・行政機関の人事・実務担当者, キャリアカウンセラーなど, 主に熊本大学の卒業生を中心とした外部講師を招き, それぞれの進路の特色, 業界やその業務の概要について講義します。

● 「ジャーナリズムの現場から」「しんぶんカフェ」(2年次)

- 現役の新聞記者やテレビ局の報道記者が講師となり, 新聞記事やニュースを教材に「読む, 書く, 聞く, 話す」のコミュニケーション能力の向上を図りながら, 社会の様々な出来事をどう捉えたらよいか, 自分なりの視点の獲得を目指します。

● 「紛争処理と法律家の役割」「法律実務の諸相」(3・4年次)

- 現役の弁護士が講師となり, 実際に起きた民事事件, 刑事事件を素材に, 裁判等における法的紛争の実態と解決のプロセスを学びます。

● 「模擬裁判～教科書から法廷へ」(3・4年次)

- 模擬裁判という形で刑事・民事の裁判手続を実践しながら, 教科書で学んだ法律論が実際の社会生活においてどのように役立っているかを学びます。

● 演習 I・II での取り組み(3・4年次)

- 複数のゼミナールでは, 地元自治体との課題研究, 地元新聞社との共同企画, 官公庁・企業等へのヒアリング調査, 地域・工場調査, アンケート調査, 社会実験などのフィールドワークを取り入れた学習を行っています。

留学制度

- **短期プログラム**

- 夏期・春期休暇を利用した語学セミナー
- アメリカ, カナダ, ラトビア, フィリピン, イギリス, ドイツ, フランス, オーストラリア, ニュージーランド

- **交換留学制度** (※法学部の過年度実績)

- 【2015年度】 中国・同済大学(2名), 独・ザールラント大学(1名), 仏・ボルドー第三大学(1名)
- 【2016年度】 波・ワルシャワ大学(1名), 独・ザールラント大学(1名)
- 【2017年度】 豪・ニューカッスル大学(2名), 英・ダラム大学(1名), 独ザールラント大学(1名)
- 【2018年度予定】 英・リーズ大学(1名), 波・ワルシャワ大学(1名), 豪・シドニー工科大学(1名)

※主な留学先...熊本大学HP→日本人留学生のための情報

海外インターンシップ(アメリカ)

2017年度は、マサチューセッツ州立大学、世界銀行、マンスフィールド財団、連邦議会・議会図書館、テキサス大学サンアントニオ校、サンアントニオ市役所などを訪問しました。右の写真は2017年10月のテキサス大学での研究発表会の様子。



(4年生)
池崎日南子さん

昨年度にテキサス大学を訪問し、「地域コミュニティと震災」というグループ研究の成果を英語で発表しました。夏休みにフィールドワークを行ったり、専門文献を読みながら分析して英語の報告資料にまとめたり、準備はすごく大変でしたが、自分たちの研究成果を特別な舞台上で発信できて、やり甲斐や達成感がありました。交流会では、アメリカの学生や教授から、たびたび「何に興味がある?」「何を学んでいる?」と話しかけられました。大学では自分で追究するテーマを持つことが大事なんだなと気づかされ、勉強のモチベーションが上がりました。

海外短期調査・研究交流プログラム(アジア)

※熊本大学大学院社会文化科学研究科との共同プログラム



2017年度は、香港大学、香港城市大学、深圳大学、マカオ大学、セント・ジョセフ大学、台湾の大華科技大学及び東呉大学、香港・深圳の弁護士事務所、マカオの青年社団、台湾の工業技術研究院などを訪問しました。左の写真は2017年9月の香港城市大学での交流会の様子。

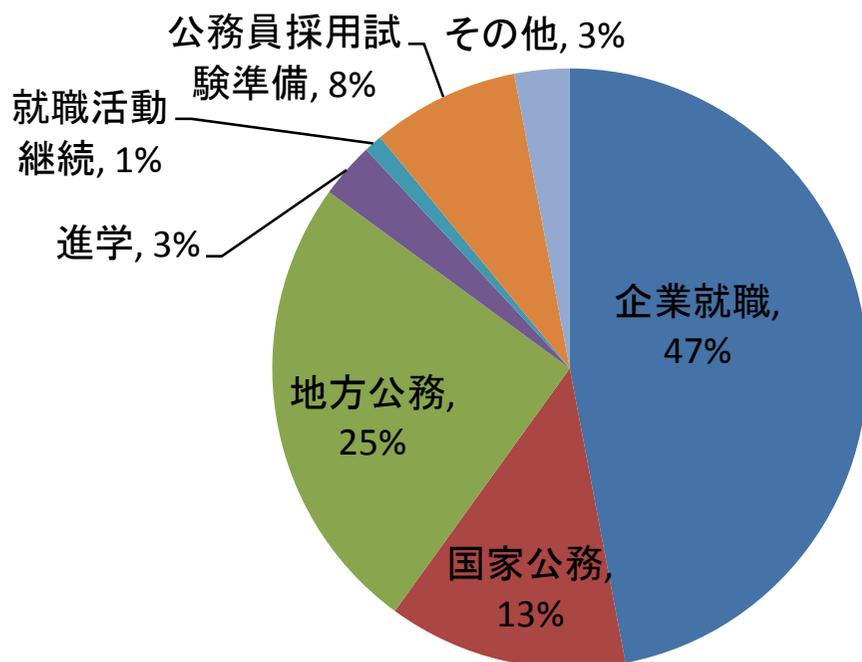
交流した中華圏の法学部生は、東アジア情勢など社会問題についての関心や自分の意見を持っていて、自分たちとは勉強に対する向き合い方が違うように思いました。海外の人たちと交流を深めるには、語学力はもちろん、広く社会に目を向けることも重要なことだと痛感しました。中国の深圳では、スマホ決済の普及などIT技術が発達していて、想像以上の発展ぶりに驚かされました。「国内市場が縮小するこれからの時代、日本企業はアジアに目を向けないと生き残れない」とよく言われますが、日本企業を呼び込むアジアの勢いを実感しました。



(3年生)
江村和大くん

卒業後の進路

2017年度卒業生の進路状況



● 卒業後の進路・卒業生紹介

- 『法学部案内2019』
- 法学部のWebサイト→「卒業後の進路」「卒業生の声」
 - <http://www.law.kumamoto-u.ac.jp/>
- 『熊大通信』→「卒業生ジャーナル」
 - <https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/kouhou/kouhoushi/kumatu/>

進路支援

- 民間企業・公務員

- インターンシップ(官公庁, 民間企業, 県弁護士会など)
- 熊本大学: キャリア支援課
- 熊本大学生協: 公務員試験対策講座

- 大学院進学

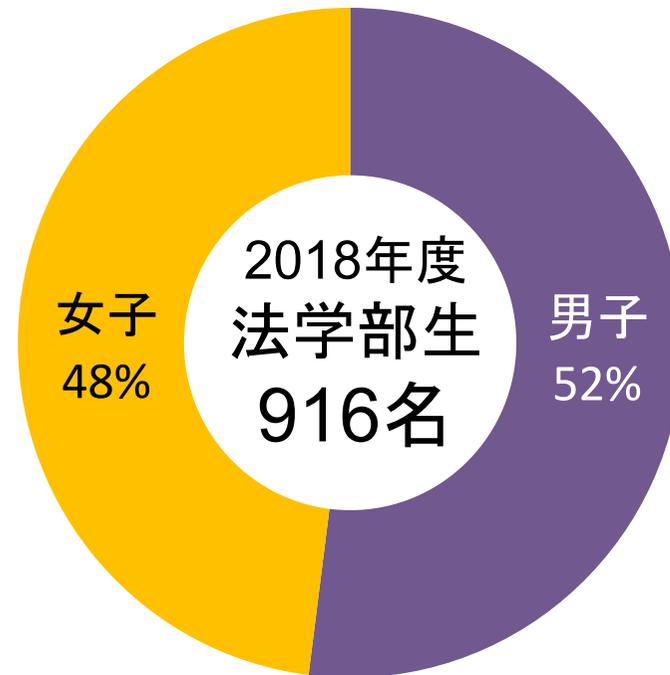
- 法科大学院
 - 九州大学・早稲田大学の法科大学院との連携協定
 - 進学説明会
- 熊本大学大学院社会文化科学研究科

学生生活

- 通学圏：福岡県久留米市～熊本県八代市
- 1年次：阿蘇合宿研修（5月半ば：1泊2日）
 - 法学部行事実行委員会の企画運営



2018年度阿蘇合宿：防災講演会の様子



法学部のアドミッション・ポリシー

- 熊本大学法学部は、次のような能力・資質をもった人を求めています。
 1. 法学・政治学・経済学を学ぶ上で必要となる中等教育についての幅広い基礎学力をもっている人
 2. 他者・社会・公共への関心をもち、他人の異なった意見に謙虚に耳を傾ける人
 3. 自分の頭で柔軟かつ論理的にものを考え、率直に議論・対話できる人
 4. 公正・公平を追求する心、地域的および国際的な感覚をもっている人
 5. 社会や公共、とりわけ自らが生まれ育ち又は生活する地域社会における諸問題に対して、広範な知見の収集、他者との議論や対話を通じて解決策の提示を行う意欲のある人

AO入試(グローバルリーダー・クラス)

- 選抜方法

- 書類審査(30点)／英語による集団面接(60点)
- グループワーク(60点)／口述審査(150点)
 - 志願者数が募集人員の約2倍を超える場合、出願書類により2段階選抜を実施することがあります。
 - 【口述審査】 国際社会や地域社会に対する問題関心や基礎知識、自分の考えを口頭で筋道立てて説明する能力、法学部で学ぶ意欲や積極性などを評価します。

- 試験日

- 2018年10月13日(土)
集団面接, グループワーク
- 2018年10月14日(日)
口述審査

推薦入試 I (ア)(イ)

- 出願資格：1校につき各1名の推薦
- 選抜方法
 - 出願書類（論述課題など）と面接
 - 志願者数が募集人員の約2倍を超える場合，出願書類により2段階選抜を実施することがあります。
- 試験日：2018年11月17日（土）
 - 個別面接

一般入試

- センター入試:2019年1月19日(土)~20日(日)
 - 5教科または6教科7科目
 - 5教科または6教科8科目
- 前期日程:2019年2月25日(月)
 - 国語／英語
- 後期日程:2019年3月12日(火)
 - 小論文

**熊本大学法学部で学びたい皆さんを
お待ちしております。**



<http://www.law.kumamoto-u.ac.jp/>